

令和8年1月29日

## 育児等との両立のための研究補助者雇用経費助成について(令和8年度前期 募集案内)

本学教員が、出産・子育て又は介護等と研究の両立ができるよう支援するために、研究補助者を雇用する経費を助成する事業です。

### I. 助成対象者

本学の常勤の大学教員で、次のいずれかの条件に該当し、出産・育児・介護等と研究の両立が困難な状況である方

- (1) 妊娠中の方
- (2) 小学校3年生までの子どもを主に養育している方
- (3) 市町村から要介護の認定を受けている親族(同居別居は問わない)を主に介護している方
- (4) その他、上記に準ずる理由がある方(例えば、要介護の認定を受けていないが家族の介護をしている、ライフイベントなどにより研究時間の確保が非常に困難な場合 等)

※産前・産後休暇中、育児休業中、介護休業中及びその他事由による休職中により、研究等の活動を中断している方は利用することができません。

### II. 研究補助者

- (1) 研究補助者となる者は、原則、本学大学院生又は学部学生とし、助成対象者が選定する。
- (2) 研究補助者は非常勤職員として雇用し、職名はリサーチ・アシスタント(博士後期課程(医学系研究科生命医科学専攻にあっては博士課程)在籍者)又は技術補佐員とする。雇用に当たっては、助成対象者が各部局の人事担当者と十分打合せの上、手続きを行う。
- (3) 研究補助者は、助成金額内であれば複数名雇用できる。
- (4) 研究補助者の業務内容は、助成対象者の研究補助(危険を伴う実験等を除く。)に限るものとする。

### III. 助成期間

令和8年4月1日(水)から令和8年9月30日(水)

#### **IV. 助成対象者及び助成金額の決定**

- (1) 提出された「研究補助者雇用経費助成申請書」に基づいて審査し、ダイバーシティ・インクルージョン担当副学長（以下「副学長」という。）が、その結果をもとに決定する。
- (2) 助成対象者一人あたりの助成金額の上限は15万円を予定。ただし、予算の都合上、応募者数等により変更されることがある。
- (3) 同一事由による支援は、助成期間を最長10期とする。（前期・後期と助成を受けた場合は2期となり、連続、不連続を問わない。）始期は、平成31年度（令和元年度）前期とし、特別な事情があると副学長が判断した場合は、この限りではない。

#### **V. 応募締切**

「研究補助者雇用経費助成申請書」に必要事項を記入のうえ、所属部局の総務担当係を経由して、令和8年2月25日（水）必着でダイバーシティ・インクルージョン推進室（以下、「D・I推進室」という。）に提出してください。

#### **VI. 雇用計画書の提出**

助成対象者に採択された場合には、「研究補助者雇用勤務計画書」をD・I推進室が指定する日までに当室へ提出してください。提出がない場合、決定を取り消す場合があります。

#### **VII. 助成報告書の提出**

助成期間終了後2週間以内に「研究補助者雇用経費助成報告書」をD・I推進室へ提出してください。

#### **《お問合せ・提出先》**

ダイバーシティ・インクルージョン推進室

電話番号：059-231-9830（内線）9830 メール：danjo@ab.mie-u.ac.jp